

## 鉛製給水管布設替事業の進捗状況について

水道課

## 1 事業経過

水道事業における水道水中への鉛溶出の問題は、重要な課題として取り組まれ、平成16年6月に厚生労働省が策定した水道ビジョンの施策目標の1つとして「鉛製給水管をできるだけ早期にゼロにする」という目標が掲げられた。

飯田市では、平成18年度に調査を行い、平成19年度に旧市内から順次布設替事業を開始した。平成26年度には対象栓数の見直しを行い、2026年度までに全ての鉛製給水管の解消を図ることとした。

## 2 対象区域及び全体対象栓数

- ・対象区域：上久堅、上村及び南信濃地区を除く市内全域
- ・全体対象栓数：30,383栓

(内訳) 平成25年度末の解消栓数：11,449栓

平成26年度以降対象栓数：18,934栓（うち不明管9,477栓）

## 3 計画概要

- ・事業期間

2006年度(平成18年度)～2026年度

- ・事業内容

- ① 鉛製給水管単独布設替工事及び老朽管布設替工事等にて工事を行う
- ② 調査実施により鉛製給水管の有無を特定する

## 4 事業進捗状況

年度	工事により 解消した数 (A)	調査により 鉛管でないこと を特定した数 (B)	年度毎の 解消数 (A+B)	解消栓数 の累計	事業の 進捗率	翌年度以降 の対象数
H25				11,449	37.7%	18,934
H26	1,125	937	2,062	13,511	44.5%	16,872
H27	1,782	1,023	2,805	16,316	53.7%	14,067
H28	1,851	720	2,571	18,887	62.2%	11,496
H29	1,735	797	2,532	21,419	70.5%	8,964

※ 平成29年度は、郊外の住宅地域で効率的に事業が実施できたため、計画の1,500栓/年を上回る進捗率となった。

今年度以降は、主に中山間地域や本管更新事業に併せての実施となり、また、これまで実施した区域内において、連絡調整がつかず未実施の水栓について対応していくため、進捗率は鈍化していく見込み。

## 鉛製給水管布設替工事の主な施工区域

